

## 蒲生干潟の地形調査②①

### ■安定の潟湖

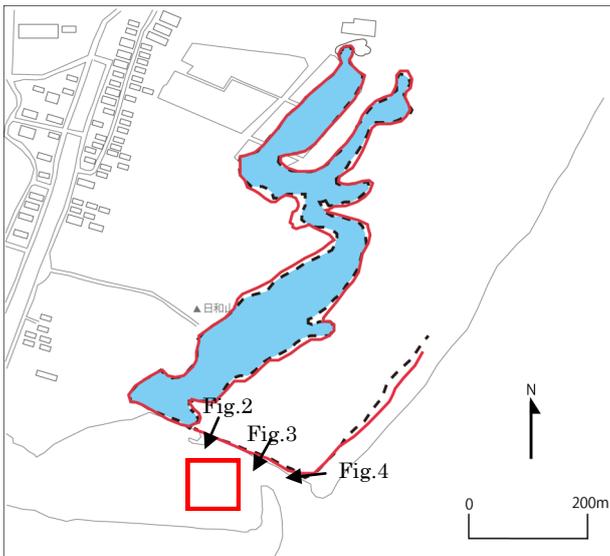


Fig.1 GPSによる簡易測量結果



Fig.2 河口付近に出来た砂州



Fig.3 東側が縮小し北側が拡大した右岸の砂州



Fig.4 むき出しになった護岸ブロック

調査日 2017年3月16日(木) 10:00~11:30 ※干潮時刻11:49(潮位27cm)

Fig.1の赤線で示されたものはGPS簡易測量による3月の汀線、黒線の破線でしめされたものは2月のそれである。また図中の矢印は写真撮影の方向を表している。2月の調査は満潮(潮位130cm)から潮がひいて行く時間帯の調査であり今回の調査は干潮時間帯(潮位27cm)での調査であったのにも関わらず、水位は上昇し潟湖は拡大していた。これは調査日前2日間の雨が影響していると考えられる。また、導流堤の通水部分は3箇所とも通水しており潟湖の水が川へ流出していた。

河口付近ではFig.1の□で示した場所に砂州が出来ており多くの鳥がいた(Fig.2)。

右岸の砂州は東側が縮小していたが、北側に拡大していた。このため河口が狭くなり水の流れが急になっており、水の流れがぶつかる場所では蛇行していた(Fig.3)。

左岸側は護岸ブロック南側の砂州はすっかり消滅し、護岸ブロック全体を覆っていた砂も無くなっており、その姿があらわになっていた(Fig.4)。

(中田 晋)